

健康福祉委員会資料

(健康福祉局関係)

2 所管事務の調査（報告）

(1) 新型コロナウイルス感染症対策（検査体制と医療提供体制）について

資料1 新型コロナウイルス感染症対策（検査体制と医療提供体制） について

令和3年3月29日

健康福祉局

新型コロナウイルス感染症対策（検査体制と医療提供体制）について

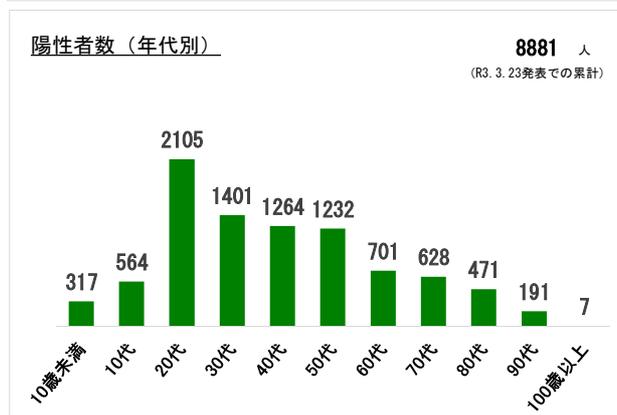
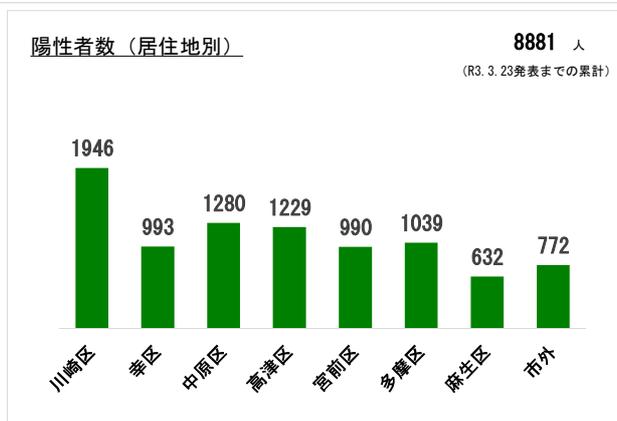
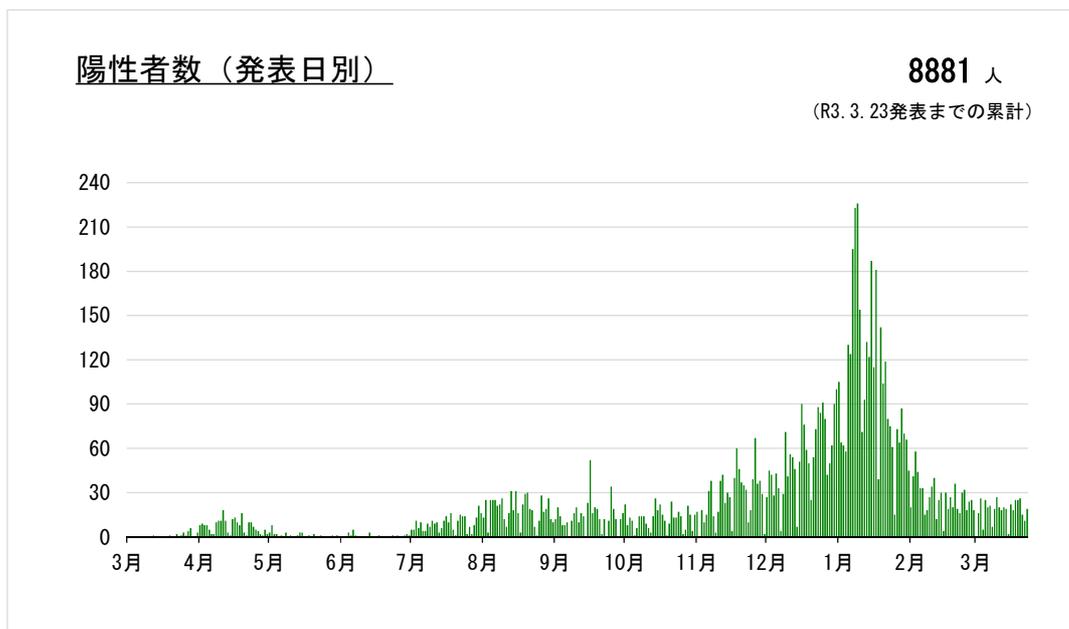
1 現状

(1) 陽性者の状況（令和3年3月23日現在）

令和3年3月23日発表までの累計陽性者数は8,881人で、うち死亡者数は141人となっている。

1日あたりの最多陽性者数は令和3年1月9日の226人となっている。

【発表日別・居住地別・年代別の陽性者数】



(2) 新型コロナウイルス感染症モニタリング状況（令和3年3月23日現在）

令和2年6月9日〔集計期間：6月1日（月）～6月7日（日）〕以降、週1回、神奈川県警戒アラートの指標等に従った項目を選び、モニタリング状況と評価を公表している。

令和3年3月23日
健康福祉局

新型コロナウイルス感染症のモニタリング状況

1 モニタリング状況（参考数値）

集計期間：令和3年3月15日（月）～3月21日（日）

指標		数値	前週	目安基準
(1)	直近1週間の新規陽性者数	142人	125人	—
(2)	直近1週間の人口10万人当たりの累積新規陽性者数 (陽性者数/ (153万人/10万人))	9.28人	8.17人	2.5人未満 (※1)
(3)	週当たりの陽性者増加比 (当該週の陽性者数/前週の陽性者数)	1.14	1.04	<1(※2)
(4)	直近1週間の感染経路不明者の割合 (感染経路不明者数/陽性者数)	55%	53%	50%未満 (※3)
(5)	直近1週間の陽性率(※4) (陽性者数/検査実施人数)	4.17%	3.66%	—
(6)	入院中の患者数(※5) (疑似症患者を含む)	93人	117人	感染症患者受入病床 298床
(7)	入院中の患者のうち重症者数(※5) (疑似症患者を含む)	6人	11人	重症病床 30床
(8)	全療養者数(※5)(入院中、宿泊療養及び自宅療養者合計(疑似症患者は含まない))	206人	190人	—

これらの数値は、速報値として公表するものです。

※1 神奈川県警戒アラート指標の基準を準用

※2 新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「緊急事態措置の解除の考え方」）より引用

※3 神奈川県の再警戒モニタリング指標の基準を準用
(再警戒基準：新規陽性者数が10人以上の時、50%以上)

※4 健康安全研究所及び民間検査機関による検査実績から算出（本市発表外陽性者も含む）

※5 3月21日(日)現在の報告数（前週分は、3月14日(日)現在の報告数）

2 評価

令和3年3月15日（月）～3月21日（日）（令和3年第11週）の川崎市におけるモニタリング状況は、以下のとおりです。

(1) 新規陽性者数は、1月4日～1月10日の1123人をピークとし、前々週120人まで

減少しましたが、前週は125人、今週は142人と増加傾向がみられています。

(2) 直近1週間の人口10万人あたりの累積新規陽性者数も、同じく1月4日～1月10日の73.40人をピークに、前々週7.84人まで減少しましたが、前週は8.17人、今週は9.28人と増加傾向がみられています。目安基準（神奈川警戒アラート）の2.5人未満は上回ったままです。

(3) 週当たりの陽性者増加比は、同じく1月4日～1月10日の2.08をピークに、前々週0.82まで減少しましたが、前週は1.04、今週は1.14と増加傾向がみられ、前週から目安基準1以下を上回るようになりました。

(4) 直近1週間の感染経路不明者の割合は、このところ40%前後で停滞していましたが、前々週42%から前週は53%、今週は55%と上昇し、前週から目安基準50%未満を上回るようになりました。

(5) 直近1週間の検査陽性率は、前々週3.32%から前週3.66%、今週は4.17%と上昇しました。

(6) 入院中の患者数は、直近1週間の新規陽性者数のピークに2週遅れた1月18日～1月24日の週182人をピークとして減少が始まり、前々週の126人から前週は117人、そして今週は93人と減少が続いています。

(7) 入院患者のうち重症者数は、1月4日～1月10日の31人をピークとして、その後減少し、このところ10人前後が続き、前々週9人、前週は11人でしたが、今週は6人と減少しました。

(8) 全療養者数（入院中、宿泊療養及び自宅療養者合計）は1月18日～1月24日の2901人をピークとして減少し、前々週は202人、前週は190人まで減少しましたが、今週は206人とやや増加しました。

(1) 全体の新規陽性者数、(2) 直近1週間の人口10万人当たりの累積新規陽性者数、(3) 週当たりの陽性者増加比、(4) 直近1週間の感染経路不明者の割合、(5) 直近1週間の検査陽性率は、前週から微増傾向となり、今週もすべて数値の増加がみられています。その結果、(2)、(3)、(4) に設定されている目安基準をいずれも上回っています。

(6) 入院中の患者数は、今週はやや減少、(7) 重症患者数は横ばい状態から明らかな減少、(8) 全療養者数についてはこれまでの減少からやや増加となっています。

関東1都3県についても医療体制については、一定の落ち着きを見せてきたため、2週間延長された緊急事態宣言は3月21日をもって解除されましたが、陽性者数としては各地で微増傾向を見せています。

本市におきましても、これまでの陽性者の発生状況は、お正月明け頃をピークとして減少が続きましたが、前週と今週は指標(1)～(5)すべてが残念ながら増加傾向となっています。一方、入院あるいは宿泊療養・自宅療養者に対する医療は、この3週間は落ち着きを取り戻した感じです。本市においては、このくらいの陽性者数で若干の増減で停滞するのであれば、入院患者の受け入れと治療、その他の通常医療についても落ち着いた状態で行うことができますが、このまま陽性者数の増加が続く（リバウンド）となると、入院患者数の増加も見られてくるので、なんとか陽性者の急増は避けたいところです。

これまでに多くの市民の方々のご理解とご協力の賜物で、市内の状況は少し安心して頂けるところまできましたが、安心が油断となり、気が緩んでしまうと12月下旬の状態に戻ってしまうことが心配されるところです。

卒業式から入学式、勤務先の異動、桜の開花宣言もありこれから陽気の良い日も増えてきますが、人の増加と感染症の増加はつきものです。どちらかへお出かけになることもあろうかと思いますが、やはり混雑する場所や時間帯はできるだけ避けて、家族単位などの少人数でゆっくりと、過ごされますよう、よろしくお願いいたします。また、三密を避ける、適切な距離が保てないなどの時はマスクをつける、手洗い・手指の消毒をこまめにするなどは、飲食の場あるいは日常生活において、感染の拡大を予防するための基本的なかつ重要な注意点です。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策分科会の提言（令和2年8月7日）で示された指標及び目安からみた川崎市の状況（参考）

ア 川崎市における目安

	医療提供体制等の負荷			②全療養者数	③PCR陽性率	感染の状況		
	①病床のひっ迫具合					④新規報告数	⑤直近一週間と先週一週間の比較	⑥感染経路不明率
	病床全体 (陽性のみ)	病床全体 (疑い含む)	重症病床					
市内最大確保病床数 (=準備病床数)	241床	326床	30床					
ステージⅢ (感染者急増)	確保病床数の1/5= 48	確保病床数の1/5= 65	確保病床数の1/5= 6	15人/10万= 225	10%	15人/10万/週 (32人/日ベース)	今週の新規>先週	50%
ステージⅣ (爆発的な感染拡大)	確保病床数の1/2= 120	確保病床数の1/2= 163	確保病床数の1/2= 15	25人/10万= 375	10%	25人/10万/週 (54人/日ベース)	今週の新規>先週	50%

イ 川崎市の状況

3月23日時点	41	88	3	217	4.2%	9.28人 (18.5人/日ベース)	今週>先週 (1.14倍)	55%
---------	----	----	---	-----	------	-----------------------	------------------	-----

2 検査体制等

(1) 相談体制

ア 新型コロナウイルス感染症コールセンター

新型コロナウイルス感染症に関する一般的な質問・相談を受け付け、市民の不安解消等を図るために令和2年2月20日に設置し、順次受付時間を拡大し、5月1日以降は24時間対応としている。

11月1日で「帰国者・接触者相談センター」を終了し、「新型コロナウイルス感染症コールセンター」に相談窓口の体制を統一した。

相談件数は、令和2年2月から4月にかけて増加し、その後はほぼ横ばいで推移していたが、令和3年2月以降は落ち着いている。

<受付時間>

- ・2月20日から3月6日 8時30分～17時15分(平日)
- ・3月7日から4月15日 8時30分～17時15分(土日休日含む)
- ・4月16日から4月30日 8時30分～21時(土日休日含む)
- ・5月1日から 24時間対応

<相談件数>

(単位：件)

2～3月 (2/20～)	4～5月	6～7月	8～9月	10～11月	12～1月	2～3月 (～3/23)	合計
2,410	10,425	12,479	12,881	8,230	12,683	3,161	62,269

イ 帰国者・接触者相談センター

発熱、呼吸器症状などがある方で、新型コロナウイルスへの感染が疑われる場合に、「帰国者・接触者外来設置医療機関」を適切に受診できるよう、令和2年2月10日に各区に専用の電話回線を設置した。5月1日以降は土日休日を含む対応とし、時間を21時まで延長して対応している。時間外においては、(ア)のコールセンターに転送し、コールセンターで対応しきれない案件は職員へ取次ぎ対応している。

11月1日で「帰国者・接触者相談センター」を終了し、「新型コロナウイルス感染症コールセンター」に相談窓口の体制を統一した。

相談件数は、令和2年2月から4月にかけて増加し、5月以降は月3千～4千件程度で推移していたが、10月は2千件程度となった。

<受付時間>

- ・2月10日から4月30日 8時30分～17時15分(平日)
- ・5月1日から 8時30分～21時(土日休日含む)

<相談件数>

(単位：件)

2～3月 (2/10～)	4～5月	6～7月	8～9月	10～11月	12～1月	2～3月	合計
4,648	11,239	6,087	8,190	1,900	-	-	32,064

(2) 検体採取

ア PCR集合検査場

検査体制の拡充を目的として、市内の病院や診療所の医師が検体採取を行うPCR集合検査場を市内3か所に設置し、川崎市医師会に運営を委託して実施している。

現在、開設時間は13時から15時で、2か所が週3日、1か所が週4日運営しており、完全予約制で実施している。採取した検体の検査は民間検査機関に委託している。これまで1日当たり最大で31検体（令和3年1月6日）の採取が実施されている。

＜検体採取数＞ (単位：件)

1～2月	3～4月	5～6月 (5/11～)	7～8月	9～10月	11～12月	1～2月	3月 (～3/23)	合計
-	-	187	598	437	552	390	92	2,256

イ 帰国者・接触者外来及び帰国者・接触者外来と同様の機能を有する医療機関

帰国者・接触者外来は、帰国者・接触者相談センターから紹介のあった新型コロナウイルス感染症疑い患者を適切に診察するために設置する医療機関であって、PCR検査等のための検体採取等を行う。（令和3年3月23日現在：17病院）

また、市と行政検査の委託契約を締結した各医療機関が民間検査機関に委託又は自施設で検査を実施している。（令和3年3月23日時点で225医療機関（14病院、211診療所*））

これまで1日当たり最大で1,322検体（令和3年1月4日）の採取が実施されている。

※集合契約を含む。

＜検体採取数（陰性確認含む）＞ (単位：件)

1～2月	3～4月	5～6月 (5/11～)	7～8月	9～10月	11～12月	1～2月	3月 (～3/23)	合計
75	2,587	4,688	14,540	18,357	31,319	39,801	11,228	122,595

ウ その他

学校や保育所、高齢者施設などで陽性者が確認された場合の濃厚接触者等の検体採取は、学校医や施設嘱託医等とも連携を図りながら、主に行政医師が行っている。これまで1日当たり最大で257検体（令和3年2月2日）の採取を実施している。

＜検体採取数（陰性確認含む）＞ (単位：件)

1～2月	3～4月	5～6月	7～8月	9～10月	11～12月	1～2月	3月 (～3/23)	合計
0	54	28	1,651	2,604	5,098	5,988	1,157	16,580

(3) 検体検査

ア 健康安全研究所による検査（PCR検査）

リアルタイムPCR検査機器5台を新型コロナウイルス感染症検査用とし、1日当たり約120検体の検査を継続して実施できる体制を確保している。必要に応じ検査数を増やすことにより、これまで1日当たり最大で315検体（令和3年1月19日）の検査を実施している。

<検査実績（陰性確認含む）>

	1～2月	3～4月	5～6月	7～8月	9～10月	11～12月	1～2月	3月	合計
								(～3/23)	
検査件数	75	2,332	2,234	5,562	4,903	7,260	7,524	1,469	31,359
検査人数	66	2,247	2,221	5,561	4,903	7,256	7,524	1,469	31,247

イ 民間検査機関による検査

これまで1日当たり最大で1,329検体（令和3年1月4日）の検査が実施されている。

(ア) PCR検査

<検査実績（陰性確認含む）>

	1～2月	3～4月	5～6月	7～8月	9～10月	11～12月	1～2月	3月	合計
								(～3/23)	
検査件数	0	309	1,932	8,534	13,831	25,084	32,514	9,296	91,500
検査人数	0	309	1,932	8,533	13,827	25,079	32,491	9,288	91,459

(イ) 抗原検査

令和2年5月13日に保険適用となって以降、増加している。

<検査実績（陰性確認含む）>

	1～2月	3～4月	5～6月	7～8月	9～10月	11～12月	1～2月	3月	合計
								(～3/23)	
検査件数	-	-	737	2,693	2,664	4,625	6,139	1,712	18,570
検査人数	-	-	737	2,692	2,662	4,623	6,139	1,712	18,565

(4) 搬送支援

感染の疑いのある方及び患者のうち、医療機関までの移動手段が確保できない方々を対象として、専用車両3台体制で民間事業者への委託により搬送を毎日実施している。

<搬送実績>

	1～2月	3～4月	5～6月	7～8月	9～10月	11～12月	1～2月	3月	合計
			(5/11～)					(～3/23)	
搬送件数	-	-	58	203	164	205	205	68	903
運行日数	-	-	44	52	61	61	59	23	300
1日平均	-	-	1.32	3.90	2.69	3.36	3.47	2.95	3.01

3 医療提供体制

(1) 本市の神奈川モデル認定医療機関における病床機能別の確保状況

病院機能	主な対象	4/14時点		11/14時点 (医療アラート発動時)		1/18時点 (入院者数過去最多)		3/23時点	
		施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数
高度医療機関	重症者	2	20	2	18	2	30	2	30
		市立川崎+民間		市立川崎+民間		市立川崎+民間		市立川崎+民間	
重点医療機関	中等症者	3	170	5	55	6	125	10	206
		市立井田・多摩+民間1		市立川崎・井田・多摩+民間2		市立川崎・井田・多摩+民間3		市立川崎・井田・多摩+民間7	
重点医療機関 協力病院	疑似症者	/		12	73	12	82	14	90
				民間12		民間12		民間14	
合計		5	190	19	146	20	237	26	326
		(実病院数4) ^{※1}		(実病院数15) ^{※1}		(実病院数16) ^{※1}		(実病院数20) ^{※1}	

※1 病院機能が重複している病院があるため

※2 通常の地域医療との均衡を図りながら、感染状況に応じて、実際に稼働させる病床数は変動する。

(2) 市内病院における入院状況の推移 ※1

		4/14時点	11/14時点 (医療アラート発動時)	1/18時点 (入院者数過去最多)	3/23時点
入院者数	陽性 確定者	52 (12)	53 (5)	141 (20)	41 (3)
	疑似症者	15 (2)	34 (3)	57 (6)	47 (2)
合計		67 (14)	87 (8)	198 (26)	88 (5)

※1 (カッコ) は、うち重症者の数

(3) 今後の病床確保・稼働の方向性

県では、第3波までの経験を踏まえて、今後はより機動的に病床確保が出来るよう、別添のとおり感染状況のフェーズに応じた県内即応病床の目標数を再設定した上、個々の病院の即応病床数について協定を締結することを予定している。これに基づき、本市においては引き続き県と連携しながら、市内における着実な病床確保を行っていく。

フェーズの捉え方の変更（見直し後のフェーズ案）

	病床確保 フェーズ0	病床確保 フェーズ1	病床確保 フェーズ2	病床確保 フェーズ3	病床確保 フェーズ4
コロナ医療体制	感染症指定 医療機関等	高度医療機関、重点医療機関、協力病院			（軽症者は自宅・宿泊療養）
即応病床数① （重症用）	20床	40床	90床	110床	190床
即応病床数② （中等症用）	100床	610床	760床	990床	1,365床
即応病床数 （合計①+②）	120床	650床	850床	1,100床	1,555床
地域医療体制	原則として平時医療を継続			一部医療の抑制	
ステージ （固定義）	ステージ1	ステージ2	ステージ3 「病床利用率20%超」/神 奈川県：中等症以上312 から777人	ステージ4 「病床利用率50%超」/神奈川 県：中等症以上777人 超	
次フェーズへの移行 要請目安	入院患者の増加状況（減少状況）等を総合的に判断。 病床拡大の場合はステージに先行して病床確保フェーズの移行を認定医療機関に要請				
重症患者数	15人程度	30人程度	70人程度	90人程度	—
中等症患者数	80人程度	300人程度	600人程度	800人程度	—

(4) 宿泊療養施設等の状況

無症状、軽症の方は、宿泊施設ないし自宅で療養しており、令和3年3月23日現在の川崎市在住の宿泊療養者は39人、自宅療養者は96人で、体調に変化がみられた際には入院調整等を行っている。

神奈川県内の宿泊療養施設の状況は以下のとおり。

	確保 室数・床数	受入可能 室数・床数
湘南国際村センター	95	0
アパホテル横浜関内	451	375
横浜伊勢佐木町ワシントンホテル	399	0
レンブラントスタイル本厚木	162	126
パークインホテル厚木(トラベルインを含む)	282	234
新横浜国際ホテル(本館)	206	188
リッチモンドホテルプレミア武蔵小杉	302	247
横浜市宿泊療養施設	200	163
相模原宿泊療養施設	40	40
合 計	2,137	1,373

※湘南国際村センター、横浜伊勢佐木町ワシントンホテルは法定点検等のため受入を停止しています。

(5) 自宅療養者等訪問支援事業

ア 事業内容

医師や看護師が、新型コロナウイルス感染症の患者や濃厚接触者となった要介護高齢者等の自宅を訪問し、健康観察や療養相談とともに、可能な範囲での療養生活上の支援を行う。(原則として1日1回)

イ 対象者

- ・一人暮らしの要介護高齢者等であって、自力で健康観察や保健所への連絡を行うことが難しい方
- ・家族と同居する要介護高齢者等であって、サービスの中断等により、必要な健康管理や介護を受けることが出来なくなった方

ウ 開始時期

令和3年5月から(予定)